



ユニバーサル デザインと 学校の授業

バリアフリーと ユニバーサルデザイン

「バリアフリー」という言葉を聞いたことのある人は多いと思います。

「バリアフリー」とは、高齢者や障害のある人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを『取り除く』という考えです。建物の段差の解消、点字ブロックや使いやすいスペースのあるトイレの設置など、私達の身近な施設や設備には、高齢者や障害者に配慮した様々なバリアの解消が見られるようになりました。

「バリアフリー」に対して「ユニバーサルデザイン」とは、この考え方を一歩進めて、『はじめから』年齢や性別、障害の有無、国籍、言語等のちがいに関係なく、すべての人にとって安全・安心で利用しやすいバリアのない建物や製品をつくったり、情報やサービスを提供したりする考え方です。

「ユニバーサルデザイン」には、次の七つの原則があります。

- ① だれもが公平に使えること
- ② 使う上で自由度が高いこと
- ③ 使い方が簡単で分かりやすいこと
- ④ 必要な情報が分かりやすいこと
- ⑤ 使い方を間違っても危険に繋がらないこと
- ⑥ 身体への負担が少ないこと
- ⑦ 利用しやすい十分な大きさ
と空間であること

私達の身の周りにも、この考え方による様々な設備、道具などがあります。

- ・ 例えは、エレベーターの中の鏡は乗った人が振り返らずに後ろの安全確認ができる。
 - ・ シャンプーボトルにあるデコボコで洗髪中でもリンスと取り違わない。
 - ・ ペットボトルのラベルにミシン目があることでラベルがはがしやすくなっている。
- など、ユニバーサルデザインは、すべての人が利用しやすいよう、工夫されています。

学校の授業に取り入れる

ユニバーサルデザインの考えを学校の授業に取り入れるとはどういうことなのでしょう。

子ども達は、一人ひとり性格が違います。例えば、先生の指示を一度聞いて理解する子どももいれば、多くの内容に混乱する子どももいます。

そこで、指導者は、
「一つ目はくします。二つ目はくします。・・・」

というように、順序立ててわかりやすく指示を出したり、絵や図を用いて説明したりします。

また、子ども達は、集中して授業に取り組める時であれば、周りのことが気にならなくなって集中できない時もあります。そのような時は、学習に関係のない掲示物を黒板の近くから取り除くなどの工夫を考えます。

これらの工夫は、援助が必要な子ども達に対して効果的であるとともに、すべての子ども達の個性を大切にしたい支援でもあります。子ども達にとって、より分かりやすい授業を行うために、ユニバーサルデザインの考えを取り入れた新しい授業のスタイルが広がっています。

男女共同参画ってなあに？

「ワーク・ライフ・バランス」とは、仕事・家庭・地域活動などの様々な活動を、自ら希望するバランスで展開できる状態のことです。その実現には、職場での働き方の見直しや、子育て・介護に関する支援体制の整備、家庭においては、家事や育児等の負担が偏らないよう家族の協力が必要です。誰もが意欲と能力を生かし、生き生きとした生活を送るため、まずは、家庭や職場、地域の中で、できることから始めてみませんか。

問い合わせ

たけはら男女共同参画社会づくり実行委員会
(人権推進室内) ☎ 22-3726



「法テラスの日」 県内一斉無料法律相談会

弁護士による無料法律相談会を行います。
日時 4月13日(土) 13時～16時
場所 ふくしの駅
定員 6人(先着順・完全予約制)
相談時間 1人30分
予約開始日 4月1日(月)
予約・問い合わせ
法テラス広島 ☎ 050-3383-5485
※平日9時～17時受付